

5月2日(月)

すべてを理解されるイエス様

聖書朗読 ヨハネ 11:28~37

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みにあわれたのです。

ヘブル 4:15

イエス様は、この世に来られるとき、例えば、天からドラマチックに降りて来られるというように、ご自分の望む形をお選びになってやって来られることも出来たでしょう。この世におられる間も、地上よりも少し高いところに住まれ、様々な問題を避けて過ごされることもお出来になったでしょう。けれども、イエス様は、私たちと同じようにこの世の歩みを経験されました。労働者階級の家にお生まれになるという形でこの世にやって来られ、あらゆる誘惑も私たちと同じように経験されました。

今、あなたを貶めようとする者が居るなら、イエス様はそのことについてあなたを理解しておられます。友人に背を向けられたなら、そのこともイエス様は理解してください。自分の責任でもないのに、責められたことはありませんか。そのこともイエス様は理解しておられます。身近な人を失い悲しみのうちにある時も、イエス様はあなたの思いを知っておられます。ヨハネ11章は、まさにこうした状況に遭遇されたときのイエス様のご様子を記しています。

この世の歩みは一時的なもの、そして、天の御国がいかに栄光に満ちたものかというのを、イエス様ほど知っておられる方は他にありません。けれども、イエス様は、友の墓の前で涙を流しておられます。私たちが失った人を嘆き悲しむとき、それは、神の永遠のご契約を信じていないことの現れではなく、自然な感情の発露ではないでしょうか。イエス様もそれを理解しておられます。

私たちが日々抱くいかなる気持ちや感情も、イエス様が理解してくださらないものは何ひとつありません。少し時間を取って、このことを神に感謝しましょう。

讃美歌 312

祈り 天のお父様。私たちを愛し、私たちの思いを理解してくださることを感謝します。私たちが苦しみに遭うとき、心を留めてくださることを感謝します。あなた様に信頼できるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

今日の力

2016年5月2日~5月8日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月3日(火)

信仰を脅かすもの

聖書朗読 ヨハネ 12:37~43

「信じます。不信仰な私をお助けください。」

マルコ 9:24

『イエスが彼らの目の前でこのように多くのしるしを行われたのに、彼らはイエスを信じなかった。』(ヨハネ 12:37)。何故でしょう。それは、彼らが自分たちの正しさを確信していたから、イザヤが言うように、彼らの心が頑なにされていたからです。彼らは、何についても答えをすべて知っており、それが真理だと思い込んでいたのです。信仰を揺るがすものについて、こう言う人がいます。信ずることの反対は、疑いではなく、思い込みなのだ。彼らは、自分たちの権威が正しいと確信していましたが、それは全く誤った思い込みだったのです。

また、彼らの中には、真理を目の前にしながら、それを告白する勇気のない、恐れを抱く信仰者たちもいました。何故恐れを抱いたのでしょうか。それは、真理を告白することに伴う彼らの払う代償を考え、栄誉と権威ある地位からの追放を恐れたのです。思い込みとともに恐れも、信仰を脅かすものとなります。

このような人々とは対照的に、悪霊に取りつかれた息子の父親は、イエス様に信仰を試されたとき、どう答えたでしょう。彼の答えはこうでした。『主よ。不信仰な私をお助けください。』(マルコ 9:24)。なんと潔く純粋な姿勢でしょう。正しいと確信する思い込みや恐れは、イエス様に対する信仰を脅かすものですが、謙虚に信仰を告白すると同時に信仰を強めていただくことをひたすら求めることが、イエス様が私たちに求めておられることです。それをご覧になるとき、主は応えてくださいます。

聖歌 452

祈り 父よ。私たちの信仰を増し加え、あなた様に仕える意志を強固なものとし、恐れを克服させてください。私たちにあなた様をお示しくださった御子の名によって祈ります。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースカロライナ州 ダーハム

5月4日(水)

恐れに立ち向かう

聖書朗読 ヨハネ 13:18~30

今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。
Ⅱコリント 4:17

私たちの生きるこの世では、様々な問題が起こります。けれども、問題が起こったとしても出来るだけ容易に早く片付いて欲しいと願うものではないでしょうか。家電製品は壊れないものであってほしい、薬を飲めば必ず病は回復、政府は法案を必ず成立させ、コンピュータは自ら問題を解消してほしいというように。困難や逆境は立ち向かうべきものではなく、避けるべきものと私たちは思っていないでしょうか。

イエス様はご自分が裏切られることも、また、その裏切りによって捕えられ、最後は十字架につけられるということもご知っておられましたが、それにもかかわらず、父から与えられた使命に慄くことも、そんなことは起こるはずもないというように振る舞うことによって事実から目を逸らされることもなく、艱難に面と向き合い、それに耐えられたのでした。

イエス様が最後まで耐え忍んでくださったことを神に感謝しましょう。イエス様は、いかなる苦難にも屈することなく、また、極めて困難な状況に遭遇されても、そこから逃れようとされることもありませんでした。イエス様が厭うことなく耐え忍んでくださったことは、私たちへの愛の証であり、同時に、御父に従われる堅い決意の表れではないでしょうか。私たちも同様に、恵みの時だけでなく、試練の時にも、揺るがない決意を示すべきでしょう。

イエス様のお話は、人々からの裏切りと十字架上で死なれたことで終わるのではなく、死に勝利し天に昇られたことまで続くのです。クリスチャンは同じ勝利を約束されています。神があなたの側におられることを覚えて、試練に立ち向かいましょう。

讃美歌 194

祈り 親愛なる神様。あなた様が私たちを愛しておられることを覚えて、困難に立ち向かう強さと、試練に打ち勝つ知恵をお与えください。
イエス様のお名前によって。アーメン。

ケビン・B・レイチェル

テネシー州 ナッシュビル

5月5日(木)

打ち勝って平安を

聖書朗読 ヨハネ 16:25～33

世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。
ヨハネ 16:33

イエス様は弟子たちに、ご自分が父から出てこの世にやって来られ、もう一度父のみもとへ戻られると言われました。ここには、多くの事が示されています。すべてを創造される前に立てられた神のご計画、それは、人を造り地上に住まわせるというものでした。神は、人が神に従わないことを選んだなら神から引き離されるということ以外は、人に自由意志をお与えになったのですが、人は墮落してしまいました。そしてその神との関係を回復するために、神は御子をこの世にお遣わしになり、御子は何一つ欠けたところのない歩みをされ、ご自分の犯した罪ではない罪のために死なれました。この不当な罰はそれに値する罪人が受けるべきものでしたが、今、そうした罰に値する罪人も自由の身となることができましたのです。この事が、イエス様が神のみもとへ戻られたということ、つまり、死んで蘇り、父のみもとへ戻られたということに込められた意味なのです。

これらのことが起きたとき、弟子たちは、福音、つまり、罪人らがイエス様の血により神のみもとへ帰る道が与えられたという良い知らせを、宣べ伝え始めました。彼らの宣教には、迫害による困難が伴いましたが、イエス様が天の父に忠実に従われ試練を乗り越えられた事を覚えて、彼らも困難に立ち向かいました。迫害に遭っても、イエス様のように、天の父に忠実であることによって、彼らもまた試練に打ち勝ち、平安を得ることができたのです。

讃美歌 第二編 157

祈り 神様、イエス様が試練に打ち勝ち、それにより私たちも赦されたことを感謝します。私たちも困難を克服し、周囲の人々にそのメッセージを伝えることができるようにしてください。それにより彼らにも赦しが与えられますように。私たちを愛し、ご自身を捧げてくださったお方を通して祈ります。アーメン。
スタッフオード・ノース
オクラホマ州 オクラホマシティ

5月6日(金)

祈りの力

聖書朗読 ヨハネ 17:20～26

キリスト・イエスが、・・・私たちのためにとりなしてくださるのです。
ローマ 8:34

誰かがあなたの為に祈ってくれているというのは、何と嬉しいことでしょう。あなたが病に苦しむ時、クリスチャンの兄弟姉妹が健康の回復を神に願い求めてくれていたでしょう。また、あなたの肩を叩いて励ましてくれたり、あなたのために祈りをしているとメールをくれたりすることもあるでしょう。主にある兄弟姉妹たちが、あなたに代わって神の元へ近づき祈ってくれるとき、言葉では言い表せないほどの、確信と喜びが得られるものではないでしょうか。

このような経験は素晴らしいものでしょう。けれども、さらにイエス様ご自身が私たちの為に、これまでも、また、今なお祈り続けてくださっていると知った時に得られる確信と喜びはどんなに素晴らしいものか、想像できるでしょうか。ヨハネ17章で、イエス様は、十字架につけられる前夜、ご自身とそこに集まった弟子たちのために祈られましたが、その時あなたの為に祈っておられたのです。イエス様は、神があなたとの交わりを受け入れてくださるよう、あなたが御子のご栄光にあずかることができるように、また、あなたが神と共にいることができるようにと、特別にあなたのために祈ってくださっています。イエス様は、あなたが完全に神の御愛にあずかることができるようにと願い求めてくださっています。この恵みは確かなものであり、ここには祈りの力、祈りを捧げる者の中で最も偉大なお方、イエス様の祈りがあるのです。

今日、確信と喜びを持って過ごしましょう。祈りと祈りを捧げる者の中で最も偉大なお方により、あなたは恵みを受けているのです。

讃美歌 310

祈り 親愛なる主よ。あなたと共にいる者の一人とならせてください。あなた様の御愛とイエス様のご栄光で、私たちを満たしてください。どうか今日、そして、天の御国に帰る日までの間、あなた様のご臨在のうちに私たちを歩ませてください。この祈り、私たちがその御名を通して祈るお方によってお捧げいたします。アーメン。

カート・ニッカム
テキサス州 アビリン

5月7日(土)

王であることの素晴らしさ

聖書朗読 ヨハネ 18:33~40

あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。 ヨハネ 8:32

「王になりたい。」そう思うことはありませんか。王は何でも手に入れることができ、優雅な素晴らしい王宮に住み、誰でも思いのままに指図することが出来、ハーレムまである王さえるのです。王になりたいと思わない人がいるでしょうか。

けれども、イエス様はこのことに顔かれるでしょうか。勿論イエス様はまさに王なのですが、ピラトに、ご自分の王国はこの世のものではないと言っておられます。イエス様は、権力や、金銭的に豊かであること、名誉など、私たちがこの世で価値あるものとするものは、一切気に留めておられませんでした。

イエス様という王は、裕福でもなく、立派な家に住まわれることもなく、この世を生きたりました。そして、ご自分の民に罵倒され唾をかけられ、最後には、残酷な拷問にかけられ殺されたのです。このゲツセマネのイエス様を思ったら、イエス様は決して王になどなりたいたいと思っておられたとは思いません。

では、なぜ王になられたのでしょうか。イエス様はピラトに、真理を証するためにこの世に来られたと告げ、この世は真理ではなく仮のものであり、死もまたそうであるとおっしゃいました。真のいのちとは、イエス様が歩まれたように、他者に仕え神との交わりのうちに歩むということです。この真理こそ、この世とこの世の自己中心的な生き方から私たちを自由にするものなのです。イエス様が私たちの王であられることは、私たちににとっては何と素晴らしいことでしょう。

讃美歌 第二編 40

祈り 親愛なる主よ。あなた様の御国の真理を知り、この世の事柄に思いが乱されることがないようにしてください。私たちの王、イエス様とイエス様にあるいのちを与えてくださり感謝します。この世に属するのではなく、この世を生きる者である私たちをお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

J・リチャード・トンプソン
テネシー州 ナッシュビル

5月8日(日)

ことばと行い

聖書朗読 ヨハネ 19:1~9

ピラトは、もう一度外に出て来て、彼らに言った。「よく聞きなさい。あなたがたのところにあの人を連れ出して来ます。あの人に何の罪も見られないということを、あなたがたに知らせるためです。」 ヨハネ 19:4

ピラトは、ことばでは、イエス様に何の罪も見出せなかったと言っていますが、彼が取った行動はどのようなものだったでしょう。

イエス様を鞭打たせ、栄光あるお方であることを嘲る衣を着せることを容認しました。ピラトは自らの弱さ、そして、ことばと行動が一致しない偽善的な指導者であることを露呈しています。このピラトの弱さを見抜いたユダヤの指導者らは、ますます大胆となり、ピラトという人物は少し押せば、すべて自分たちの望み通りになると考えるようになりました。

私達も、そのような誘惑にかられることがあるのではないのでしょうか。口では真理を語りながら、行いとなると妥協してしまうというように。私たちの姿勢がそのようなものであると、この世はさらに妥協を迫ってくるものです。最終的には、主を十字架につけることに同意するまで、この世は執拗に迫ってきます。

ピラトは、完全な悪人ではなかったでしょう。ある程度は神を恐れていましたが、神以上に人を恐れたのです。何の罪もない人物を殺したくはなかったでしょうけれど、不当に罰することは容認しています。ピラトは、最終的に死刑宣告を承認するまで、少しずつ周囲から操られていたのです。

イエス様のために、私たちは自らの態度を明確に示しましょう。

讃美歌 452

祈り 主よ。あなたの側に立とうとするとき、どうか傍にいてください。臆病にも妥協してしまうことが多くありますことをお赦しください。私たちの態度が日々少しずつより良いものとなるよう、私たちを強めてください。あなた様に願うことなど畏れ多いことですが、イエス様のお名前によって祈らせてください。アーメン。

サイヤー・サリスバリー
オハイオ州 トレド